

市政ニュース

豊岡を担う次代の人づくり

豊岡稽古堂塾を開講

6月18日、豊岡稽古堂塾開講式を豊岡稽古堂で開催しました。

開講式では、塾長の中具宗治市長が、ビデオレターで豊岡稽古堂塾の目的等を説明しました。

続いて豊岡稽古堂塾師範(兵庫県立大学大学院准教授)の山崎義人さんが「地域資源を活かしたまちづくり」、真野毅副市長が「民・官協働によるまちづくり」というテーマで講義を行いました。

24日には、第2回を開催し、政策シンクタンクP.H.P.総研の永久寿夫さんが「政策のつくり方」というテーマで講義



▲第1回の山崎義人さんの講義風景



▲第2回は、永久寿夫さんが講演

しました。政策とは何か、政策を作る上での考え方とは何かなど、永久さんの経験や具体的な事例を交えながらの説明がありました。

【豊岡稽古堂塾】

講義・演習、グループワークにより、政策やビジネスプランの作成、実行に必要な理論、理念、技術等を民間の方と本市職員が共に学びます。

これにより、戦略的に考え、効果的に実行する能力を身につけ、未来の本市を担う人材を育成するとともに、民・官を越えたネットワークづくりを図ります。

シーズンを前に待望の施設完成 新田小学校と田鶴野小学校のプール竣工式を挙げる

6月13日に新田小学校のプールの竣工式を、16日には田鶴野小学校のプールの竣工式を行いました。



▲新田小学校の新しいプール



▲プールの中で元気いっぱいの子どもたち

天候に恵まれた田鶴野小学校では、当日がプール開きとなり、児童の歓声が響き渡りました。

神鍋高原万場スキー場ゲレンデで 但馬牛の放牧スタート

6月19日から、但馬牛約20頭の放牧(11月中旬)を神鍋高原の万場スキー場ゲレンデで始めました。

この放牧で、但馬牛の品質向上と飼育農家の省力化を図り、豊岡産但馬牛のブランド化を推進します。

牛舎と違い、広い野草地を自由に走り回れるため、牛のストレスが解消されます。また、急傾斜地を駆け上る



▲気持ち良さそうな牛たち

ことで足腰が強くなり、牛の健康増進につながる効果も期待できます。

主な市政の動き

【6月】

- 12日・日本劇作家大会2014 豊岡大会(15日)
- 13日・小学校プール竣工(新田、16日・田鶴野)
- 17日・JAFこころのプロジェクト「夢の教室」(20日)
- 18日・豊岡稽古堂塾開講(平成27年3月7日)
- 19日・市民と市長の座談会(城崎支所、※以下は公民館)
- 20日・寺坂地区、23日・菅谷地区、25日・八代地区、26日・小野地区、27日・国府地区、7月9日・清滝地区、10日・五荘地区)
- 20日・第1回豊岡市公営企業審議会
- 22日・第34回兵庫神鍋高原マラソン全国大会
- 23日・豊岡市感謝状贈呈式
- 28日・豊岡市歴史的建築物保存活用検討委員会設立
- 【7月】
- 4日・第5回自治体国際協力フォーラムで市長講演(パリ)
- 8日・豊岡市第5次インドネシア漁業実習生修了証授与式

初夏の高原をさっそうと駆ける

「兵庫神鍋高原マラソン全国大会」初の初夏開催

6月22日、県立但馬ドームを発着点とし、第34回兵庫神鍋高原マラソン全国大会を開催しました。



▲元気いっぱい、一斉にスタート

これまで真夏の8月に開催していた大会を、選手の健康に配慮し、今回初めて初夏の6月に開催しました。

当日は、雨がぱらつく天候でしたが、熱い声援の中、4484人が出走しました。

同大会は、選手だけでなく、応援する方も楽しめる「おもてなし」も大きな魅力。これまでの「神鍋スイカ」に変わるものとして「神鍋K A I F U K U スー プ」や「橘の実入りシロップの



▲心を込めて新メニューでおもてなし

かき氷」が振る舞われました。また、恒例の「但馬牛のバターペキュリー」「ニジマスの塩焼き」などにも行列ができ、大変なごわいを見せていました。

地域のかけがえのない財産を守る

「豊岡市歴史的建築物保存活用検討委員会」を設立

城崎温泉景観形成重点地区の木造3階建て建築物は約200軒あり、うち旅館は約60軒と、国内でも有数の集積度を誇り、情緒ある温泉街の景観を醸し出す重要な建築物となっています。

しかし、大半が築50年以上の建物で、現行の建築基準法に適合せず、用途変更や大規模な改築などは困難な状況になっています。



▲検討委員会の光景

その結果、空き店舗や駐車場など、優れた景観が損な

われる危機に直面しています。昨年、国が歴史的建築物の活用等

が円滑に行われるよう、建築基準法の適用除外を認める仕組みを推進する方針を示しました。また、今年5月に兵庫県全域が国家戦略特別区域に指定されました。これを受け、本市は、安全かつ安心に活用できる歴史的建築物の構造基準等を検討するため、6月28日、「豊岡市歴史的建築物保存活用検討委員会」を設立しました。

中貝市長の徒然日記 81

妻の声は天の声

携帯に電話が入りました。「中貝さん、BS11の生放送に出てくれませんか？」

毎日新聞顧問の松田喬和さんからでした。報道ライブ21という番組で、水害対策をテーマに松田さん、三条市の國定勇人市長と意見を交わすという内容でした。松田さんは政治専門のジャーナリストですが、平成17年に豊岡市が被災自治体に声をかけて始まった「水害サミット」のコーディネーターをずっと務めていただいています。番組のキャスターは露木 茂さんです。

放送日の6月18日は、市の「豊岡稽古堂塾」の開校式で、私が塾長です。官民の若手10人ずつ一緒になって1年間学んでもらい、豊岡を支える人材を育てるといふ壮大な目標を掲げた、中貝肝いりの稽古堂塾です。が、営業第一と出演することとし、入学式は、あつげなく塾長不在という事態になりました。

当日。午後8時過ぎに放送

局に入り、簡単な打ち合わせの後9時から本番でした。やり取りは順調に進み、最後にコウノトリ育むお米をテ

ブルの上に出してPRをしました。水害の絶望とコウノトリの希望は、実は同じ豊岡の自然がもたらすものです。そして無事に終了。ご覧になつた市民の皆さんはさぞかし誇らしく思っていたに

いるだろうと自画自賛していました。矢先、妻からメールが入りました。「わっ、猫背だ！口がへの字だ。カメラ油断禁物」

しょぼくれて豊岡に帰り、録画を見ました。そんなにひどくないけどなあ。

FMジャンルでその顛末を話しました。知人からメッセージが届きました。「大変面白く拝聴しました。奥様のダメ出しは天の声。ちなみに我が家は、毎日聞こえてきます近頃は打たれ強くなりまし

た」とも一緒のようです。28日のニュースにも映りました。「ポロシャツの下のボタン、してた方が良かった」ありがたいことです。